

An aerial photograph of Matsuyama City, Japan, showing a dense urban area with a grid-like street pattern. In the background, the Seto Inland Sea is visible, with a prominent, conical island (Ishinomoto Island) in the center. The sky is clear and blue.

松山市 風早レトロタウン構想

～昭和の賑わいを求めて～

平成 25 年 3 月
松山市

はじめに



にぎ 昭和の賑わいを求めて

松山市長 野 志 克 仁

古くから「風早^{かざはや}」と呼ばれている北条地域は、鹿島や高縄山など緑豊かな自然に囲まれ、中世伊予の豪族である河野氏ゆかりの歴史・文化が残るなど、数多くの魅力あふれる資源に恵まれています。こうした、かけがえのない「地域の宝」を市民の皆様と磨きながら、北条地域の活性化を図ることを目的に、本構想を策定しました。

北条地域は昭和の頃、家族や地域が深く結びつき、まちも人も暮らしも活気に満ちあふれ、鹿島や商店街は多くの人で賑わっていました。こうした当時の賑わいを求め、様々な分野において活性化に向けた取り組みを進めることで、一人ひとりが笑顔で暮らせる活気ある地域につながることを期待し、私は「レトロタウン」という言葉にその想いを込めました。

本構想では「昭和の賑わいを求めて」をテーマに、今後10年間の取り組むべき方針を掲げており、北条地域の活性化の実現に向け、本構想を指針として地域の皆さんと協働しながら持続的な発展につなげていきたいと考えています。

最後に本構想の策定にあたり、これまで御尽力を賜りました推進委員会の委員各位をはじめ、意見交換会やアンケート等に御協力いただきました市民の皆様にご心からお礼を申し上げますとともに、構想の推進に向けて、より一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年3月

もくじ

1 風早レトロタウン構想とは -----	1
(1) 構想が目指すもの -----	2
(2) 構想策定の趣旨 -----	2
(3) 対象期間 -----	2
(4) 北条地域の構成 -----	3
2 北条地域のすがた -----	4
(1) 地域のかたち・気候 -----	5
(2) 地域の昔ばなし -----	6
(3) 地域を代表する行事 -----	6
(4) 数字で語るすがた -----	7
3 テーマと全体ビジョン -----	8
(1) テーマへの思い -----	9
(2) 全体ビジョン -----	10
(3) 構想の考え方 -----	11
(4) 構想の進め方 -----	12
(5) 5つのポイント -----	13
4 『中核エリア』の活性化に向けて -----	14
(1) 中核エリア -----	15
(2) 鹿島 -----	18
(3) 駅前通り周辺 -----	24
(4) 中核エリアの取り組み体系図 -----	30
5 『広域エリア』の活性化に向けて -----	31
(1) 広域エリア -----	32
(2) 浅海地区 -----	34
(3) 立岩地区 -----	36
(4) 難波地区 -----	38
(5) 正岡地区 -----	40
(6) 北条地区 -----	42
(7) 河野地区 -----	44
(8) 粟井地区 -----	46
(9) 広域エリアにおける取り組みアイデア -----	48
(10) 広域エリアにおける取り組み体系図 -----	50

6 構想実現に向けた連携体制 -----	51
7 参考資料 -----	53
(1) 風早レトロタウン構想策定検討経緯 -----	54
(2) 風早レトロタウン構想策定庁内プロジェクトチーム -----	55
(3) 風早レトロタウン構想検討準備委員会 -----	56
(4) 風早レトロタウン構想推進委員会 -----	57
(5) 風早レトロタウン構想策定委員会 -----	58
(6) 意見交換会(ワークショップ) -----	58

風早
レトロタウン構想
とは

1

地域住民一人ひとりが 笑顔で暮らせる 活気ある地域へ

(1) 構想が目指すもの

北条地域は、善応寺ぜんのうじや權練かいはねりなど、中世伊予の豪族である河野氏繁栄の足跡を色濃く残す歴史や文化を有しているほか、鹿島や高縄山など豊かな自然に恵まれた魅力あふれる地域であり、本市が進める『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想においてもサブセンターゾーンのひとつに位置づけられています。

しかし、鹿島の渡船利用者数が年々減少傾向にあるなど、こうした資源の魅力を十分に引き出せておらず、産業においても松山地区への通勤・通学による昼間人口の減少などにより、旧国道 196 号沿線の市街地は、かつてのにぎわいを失っています。

このような現状を踏まえ、北条地域が抱える課題解決に向けた取り組みを進めることで、住民一人ひとりが笑顔で暮らせる活気ある地域を目指します。

(2) 構想策定の趣旨

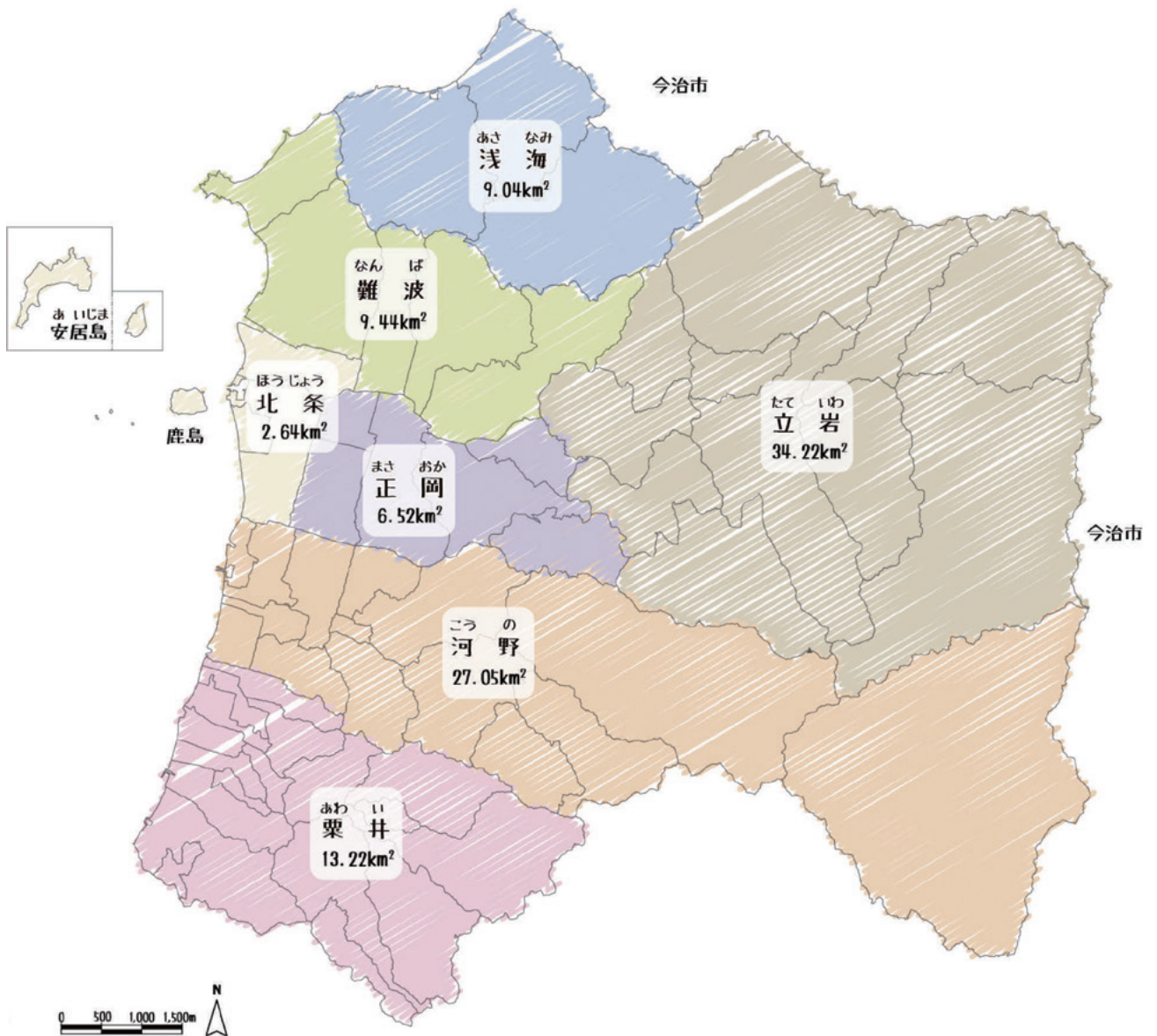
この構想は、地域全体の持続的な発展を目的に、地域住民、関係団体、行政が協働し、北条地域の振興を推進していくことを定めるものです。

(3) 対象期間

この構想の対象期間は、おおむね 10 年間を目途とします。

(4) 北条地域の構成

北条地域は、浅海・立岩・難波・正岡・北条・河野・粟井の7地区で構成されています。



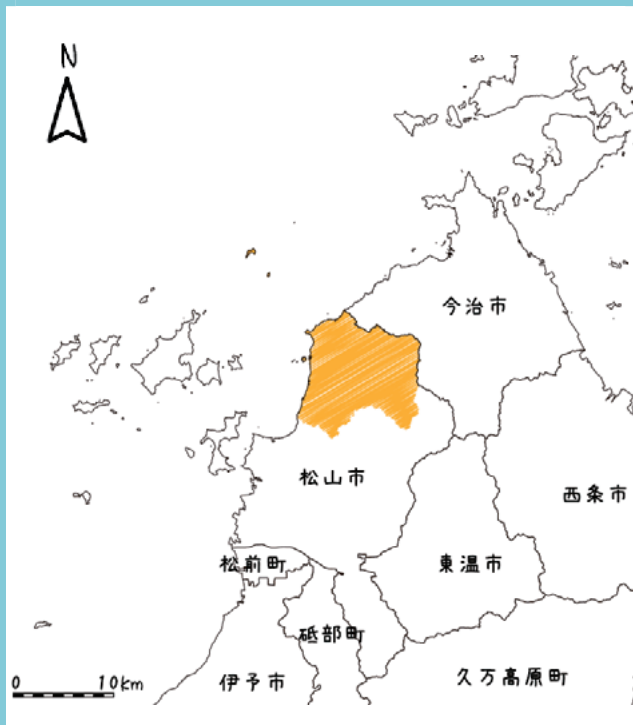
北条地域
の
すがた

2

北条地域はこんなまち

(1) 地域のかたち・気候

松山市の北部に位置する
102.13 km²のまち



標高 986m の高縄山を最高地点とし、
西に瀬戸内海が広がる地形



地域を代表する川
立岩川・河野川・高山川・栗井川



年間平均気温は 16℃
雨が少なく暮らしやすい温暖なまち



(2) 地域の昔ばなし

『風早』の由来

北条地域は古くより「風早」と呼ばれていました。風早の語源は「風が早（速）い地」という説が一般的で、この地方独特の自然現象を表していると言われていています。地名のおこりは4世紀末とも言われ、現在まで変わらず風早という名称で親しまれています。

参考文献『北条市誌』（北条市誌編纂会 昭^{へんさんかい}和56年3月刊）

『河野氏』の歴史

北条地域は、中世に活躍した河野氏発祥の地です。

河野氏は水軍をひきい源平合戦で源氏方に味方したことから台頭し、伊予を治めるほどの勢力を誇りました。元寇の際、九州で河野通有が活躍し、河野氏は全国的に名を馳せました。一族は、現在の河野地区、善応寺付近を中心に、風早全域の地形をうまく利用し砦を築きます。

その後、道後に本拠地を移し、豊臣秀吉の四国統一により滅亡しますが、今も河野氏の足跡は各地区に史跡や文化として残っています。



中世における風早の城砦

(3) 地域を代表する行事

大しめ縄張り替え



風早海まつり



河野氏まつり



北条秋祭り



かいね
櫓練り



鹿の角切り



ゆみぎとう
弓祈禱



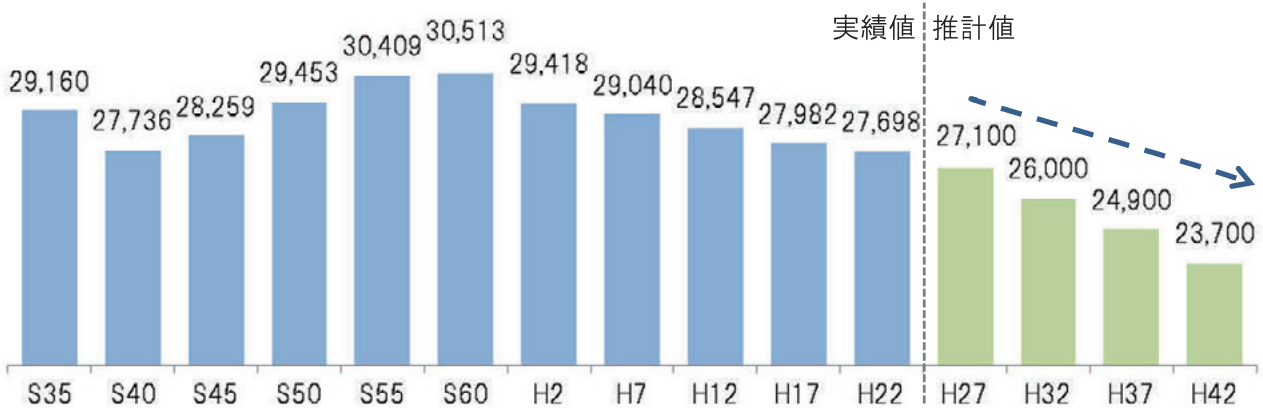
伊予万歳



(4) 数字で語るすがた

北条地域の人口は、これからどんどん少なくなっていく

＜人口の移り変わり＞



データ：H22 までは国勢調査、H27 以降は松山市推計による推計人口：単位（人）

1 世帯あたりの平均人数は 2.7 人

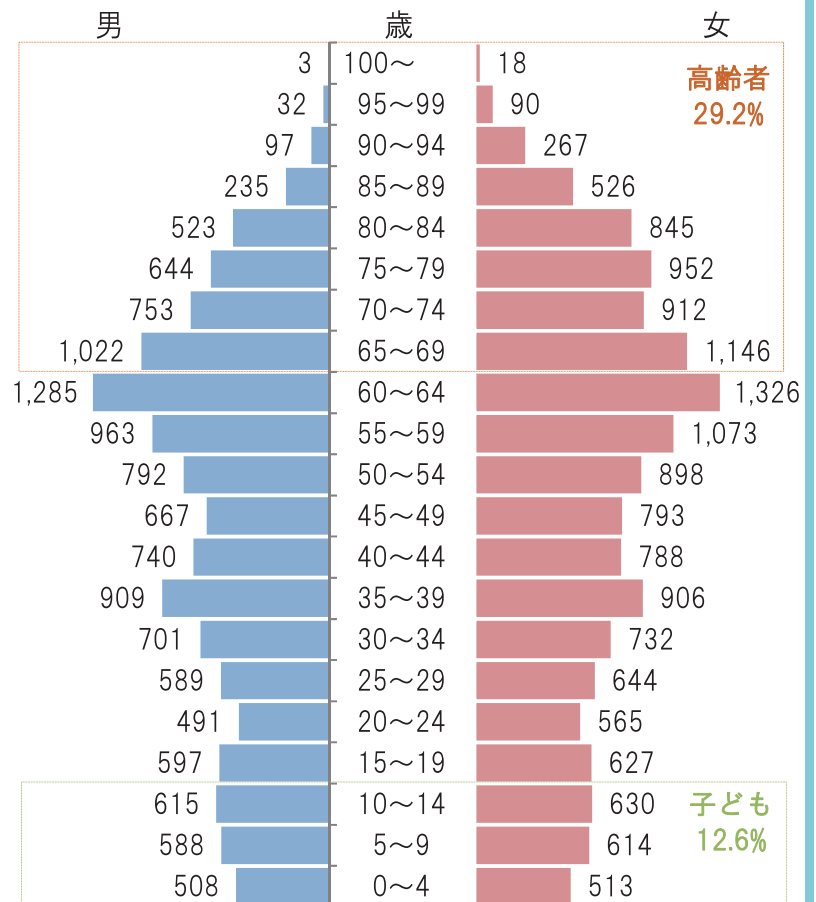
＜1 世帯の人数の移り変わり＞



データ：H22 国勢調査：単位（人）

10 人に 3 人が高齢者 10 人に 1 人が子ども

＜北条地域の人口ピラミッド＞



データ：H22 国勢調査(年齢不詳除く)：単位（人）

テーマ
と
全体ビジョン

3

テーマは 『昭和の賑にぎわいを求めて』

(1) テーマへの想い

昭和 33 年 11 月 1 日、北条市が誕生。それから合併までの約 50 年間、北条は昭和とともに発展を遂げてきました。昭和 30 年代、高縄山に県下初の屋外マンモススケート場が完成し、海水浴場としてにぎわいを見せていた鹿島に国民宿舎が建設されました。中心部には 4 つの映画館（大正座、文化会館、戎座、風早劇場）があり、テレビが普及する昭和 40 年頃まで市民の娯楽の場所として栄えていました。昭和 40 年代、続く経済成長の中で生活水準が向上。好景気に支えられ、みかん需要が増大し、難波地区に集団みかん園が造成されました。東京オリンピック後、スポーツ熱の高まりでスポーツが生活の一部となり始め、北条青少年スポーツセンターが完成したのも時代の象徴と言えます。

昭和 45 年の大阪万国博覧会では、国内外に向けて北条の郷土芸能である伊予万歳を披露。また、昭和 50、60 年代に、北条出身の脚本家早坂暁氏によるテレビドラマのロケ地として、渥美清さんらが撮影に訪れました。そしてドラマの効果から北条が全国から脚光を浴びるきっかけとなり、地元でも商店街などを中心に大いににぎわいました。家族や地域が深く結びつき、まちも人も暮らしも活気に満ちあふれる、昭和とはまさにそんな時代でした。

こうしたあの頃のにぎわい、活気を求めることは、地域全体の活性化につながっていくものと期待されます。昭和のにぎわいを求め、持続的な発展を目指した取り組みを様々な分野において推進していきます。

全体ビジョンは 再生・継承・創造

(2) 全体ビジョン

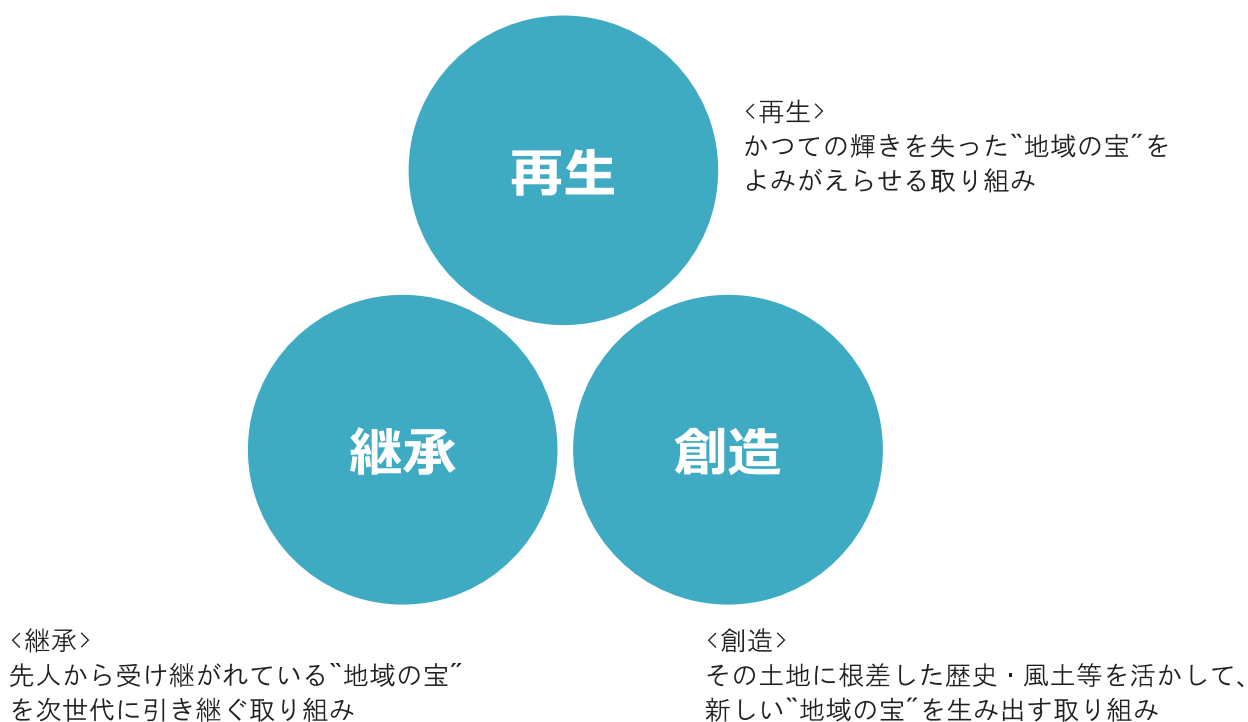
かざはや 風早レトロタウン構想

「レトロ」とは懐かしいと感じる、いわゆる「懐古」のことであり、時間を振り返ることで生まれる感情である。

風早レトロタウン構想とは、時間を「過去」「現在」「未来」に分け、

「過去」のものを「現在」へ（再生）
「過去」のものを「現在」から「未来」へ（継承）
新たなものを生み出し「未来」へ（創造）

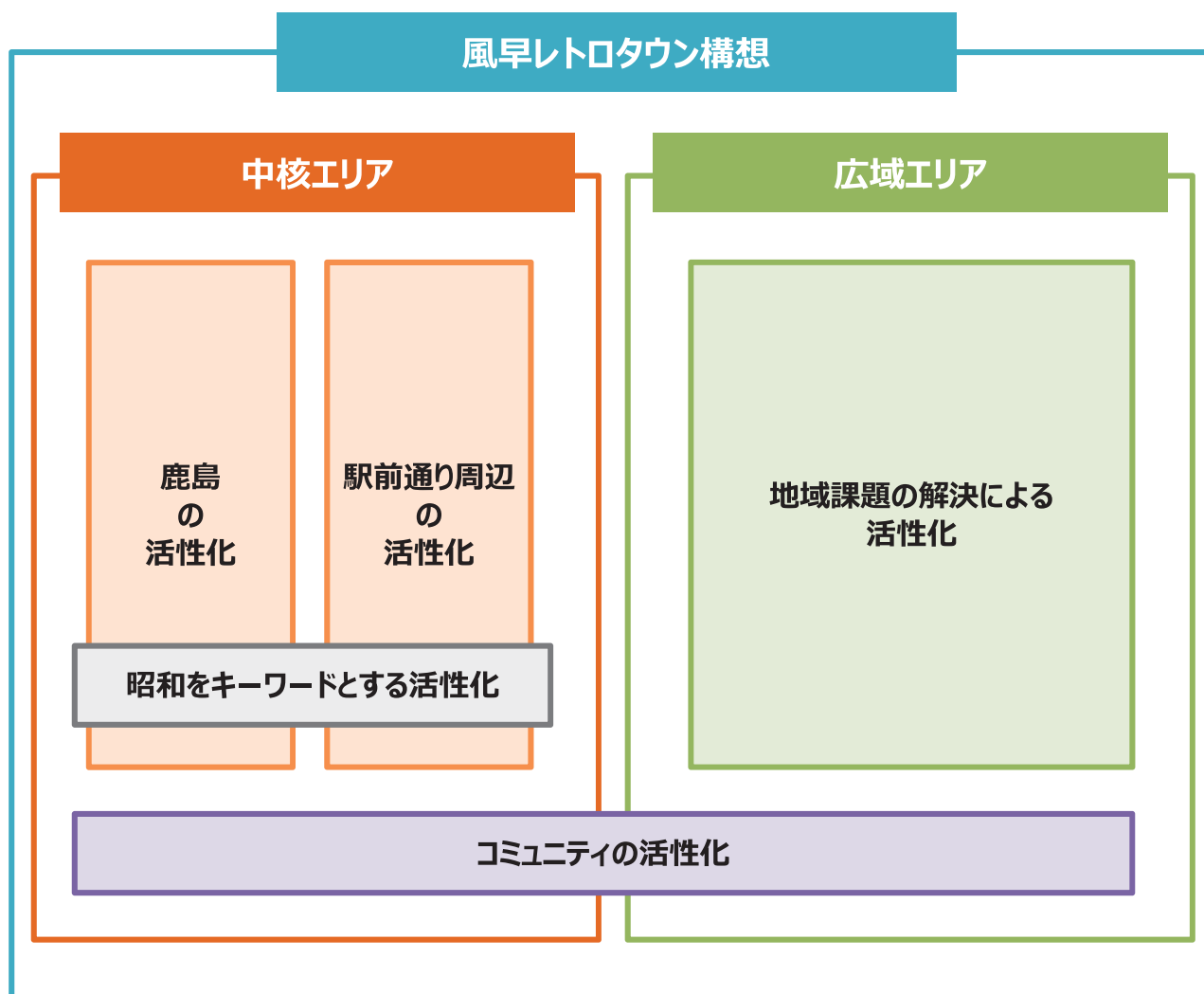
この3つの視点で取り組み、「再生」「継承」「創造」することで、北条地域の活性化の実現を目指すものである。



(3) 構想の考え方

風早レトロタウン構想は、「昭和の賑わい^{にぎ}を求めて」のテーマのもと、「再生」「継承」「創造」の3つの視点で北条地域の活性化を目指します。

鹿島とJR北条駅前通り周辺を対象とする『中核エリア』と、その他の地域を対象とする『広域エリア』の2つのエリアで構成し、『中核エリア』は「昭和をキーワードとする活性化」を視野に入れながら、「鹿島の活性化」と「駅前通り周辺の活性化」を中心に進め、『広域エリア』は「地域課題の解決による活性化」を進めます。更に「コミュニティの活性化」も図りながら、北条地域の活性化へとつなげていきます。

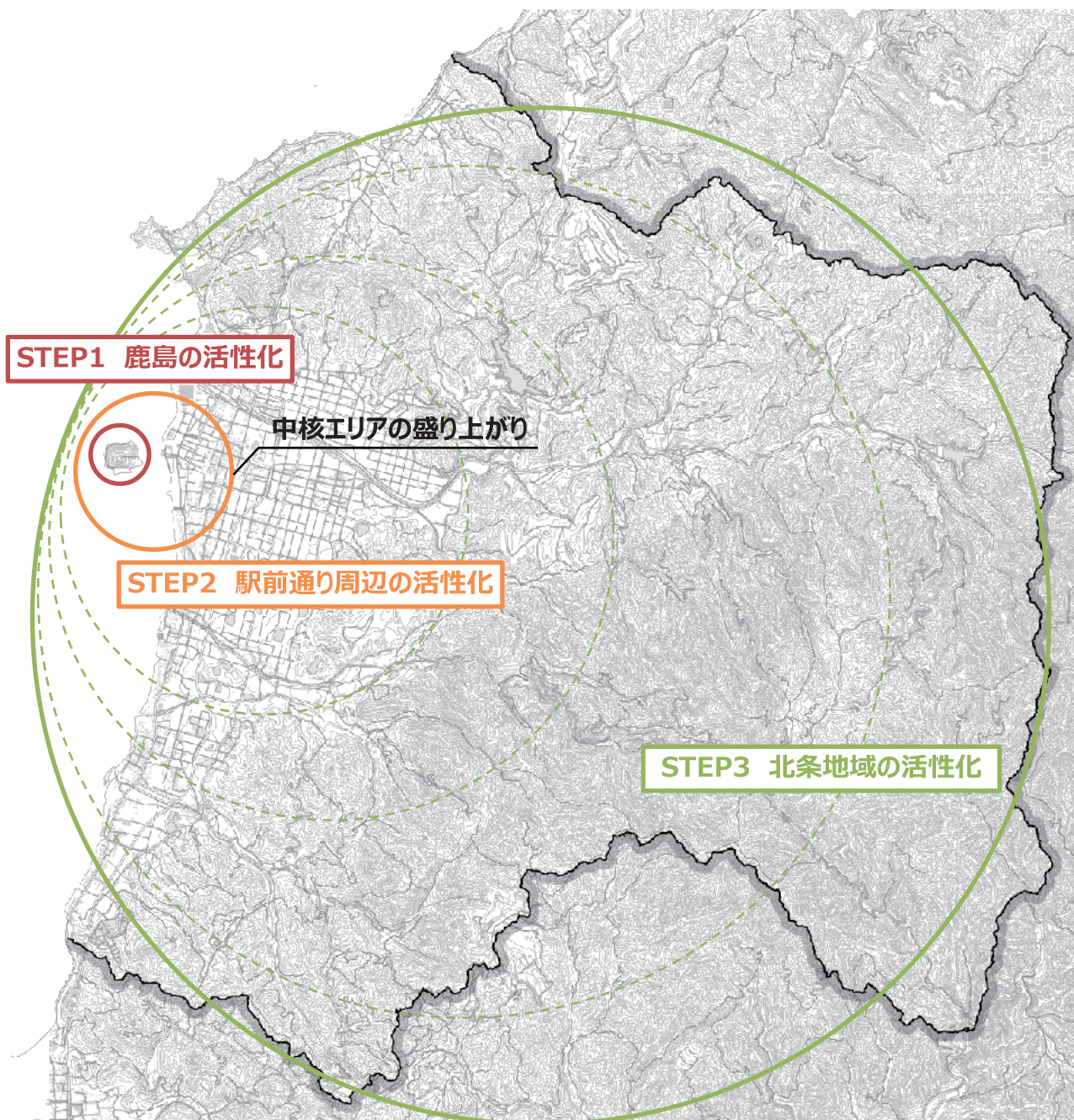


(4) 構想の進め方

かざはや

風早レトロタウン構想は、中核エリアの活性化を起点とし、3つのSTEPを進めます。

STEP1 北条の誇る地域資源「鹿島」の活性化を図り、鹿島に人を集め、人の流れをつくれます。そして地域の機運が高まることで、STEP2 鹿島と連携しながら駅前通り周辺の活性化を図ります。人が集まり、人が動くことで、中核エリアの盛り上がりにつなげ、STEP3 北条地域の活性化へと取り組みを広げていきます。



この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1基盤地図情報(愛媛県)を使用したものである。

(5) 5つのポイント

風早レトロタウン構想は、北条地域の活性化の実現を目指し、以下の5つのポイントに基づいて取り組みを進めることで「再生」「継承」「創造」へとつなげていきます。

資源活用	地域の資源を様々な視点で見つめ直し活用することで、既存の魅力を磨き上げるとともに、新たな魅力の創出を図ります。
環境整備	景観、環境を整備し価値を高めることで、地域住民の満足度を高め、誇りを育むとともに、訪れる人にとっても魅力ある空間づくりを図ります。
情報発信	地域の魅力を効果的かつ効率的に伝えることで、一人でも多くの人の興味・共感につなげ、参加・共有へと広げていきます。
交流促進	集客を図ることに加え、訪れる人との交流の場をつくることで、地域住民の機運やおもてなしの心の醸成を図ります。
協働推進	地域住民、関係団体、大学、民間事業者、行政などが協働することで、それぞれの強みや役割を活かし、取り組みが継続する環境を整えます。

『中核エリア』
の
活性化に向けて

4

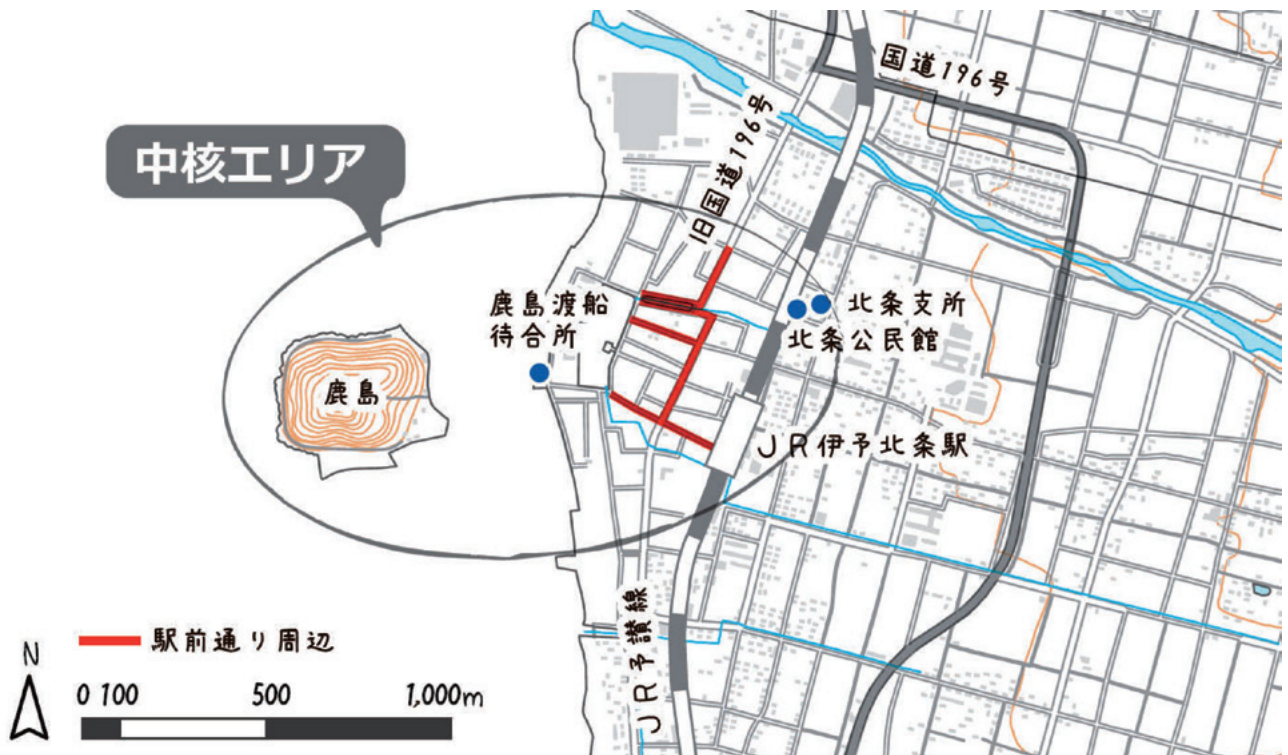
鹿島と駅前通り周辺が連携して 効果を最大に

(1) 中核エリア

① 区域

中核エリアは、鹿島及び駅前通り周辺を区域とします。

なお、駅前通り周辺とは、北条駅前商店街、北条辻町商店街、北条本町商店街、みょうじょうがわ明星川の沿道周辺を指します。



この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1基盤地図情報(愛媛県)を使用したものである。

② 活性化に向けた方針

風早レトロタウン構想は中核エリアの活性化を起点としていることから、『鹿島』と『駅前通り周辺』の活性化は非常に重要であり、その効果を高めるためには、両区域の連携した取り組みが求められます。

このことから中核エリアは、活性化に向け『連携した取り組みで効果の最大化を図る』を方針とします。

③ スローガン

『連携した取り組みで効果の最大化を図る』方針を共有するため、スローガンを掲げます。

ここから、ひとつに。

中核エリアを構成する 2 つの柱

『鹿島』と『駅前通り周辺』。

取り組み効果を最大化するために、

この 2 つを中心とした連携が求められる。

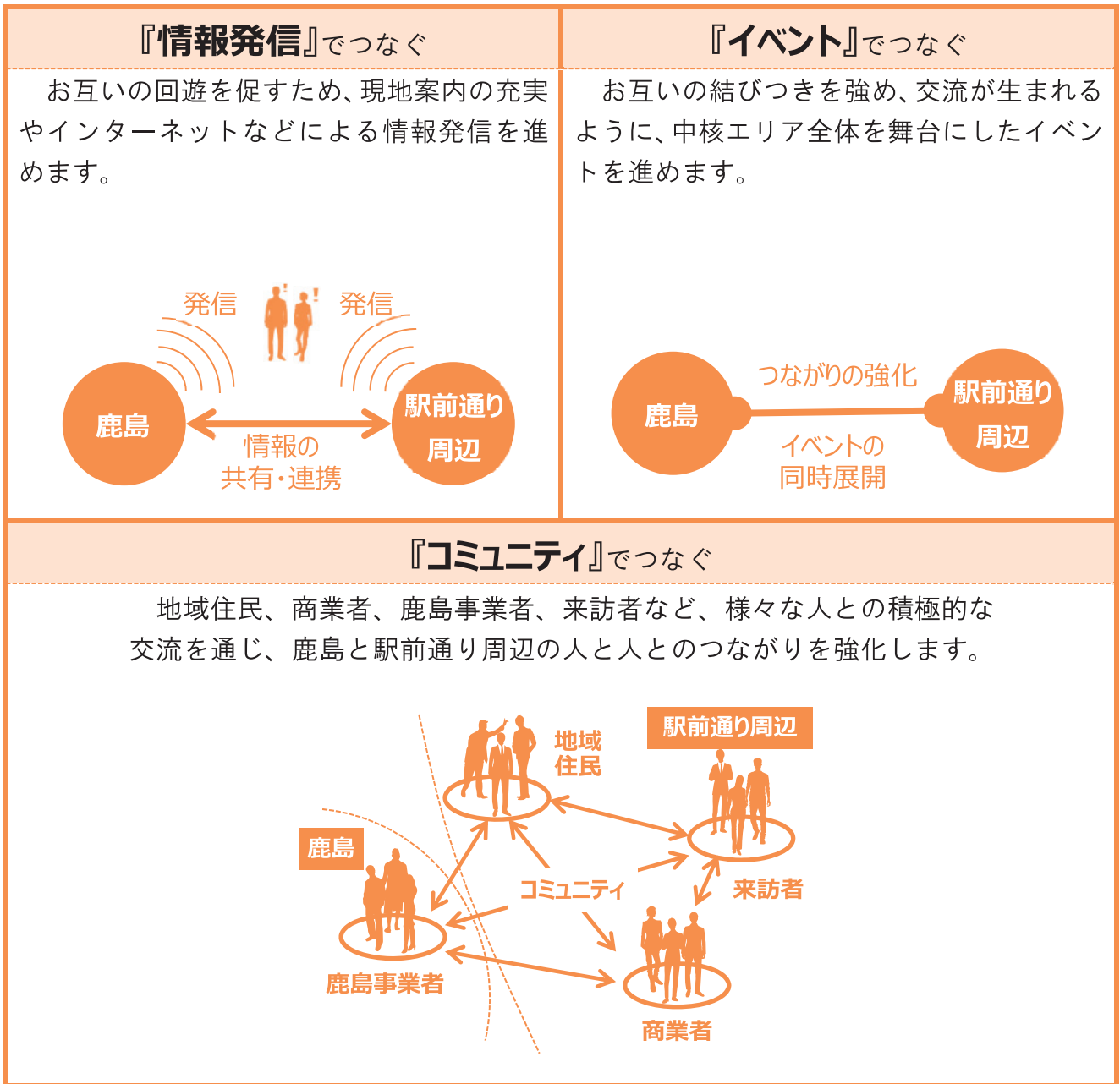
ここが『風早レトロタウン構想』の起点。

ここから全てが始まる。

全ては北条地域の活性化のために。

④ 取り組み方向

鹿島と駅前通り周辺のそれぞれで取り組みを進めながら、お互いをつなぐ(連携)仕組みを構築し、中核エリア活性化の効果の最大化を図ります。



鹿島にかつての魅力を取り戻す

(2) 鹿島

① 概況



鹿島は、北条港の西方 400m に浮かぶ周囲 1.5 km、標高 114m の小島で、中世の頃、河野氏の海城の役目を果たしていました。別名「伊予の江の島」とも呼ばれ、昭和 31 年 5 月に国立公園となりました。

山頂には展望台や神功皇后伝説の「御野立の巖」があり、展望台からは「千霧」や「小鹿島」、また、大しめ縄張り替えが行われる「玉理・寒戸島」が望めます。島全体には松・楠など温暖性常緑照葉樹が繁り、約 260 種類の植物が生息しています。島内には句碑や河野氏ゆかりの鹿島神社などもあり、歴史文化にふれることができるほか、周遊船で「水晶ヶ浜」や「石門」などの風景を楽しむことができます。



② 昭和の頃

昭和時代の鹿島は2つの顔を持ち合わせていました。

1つは、「癒し」の顔を持っていた昭和20年代までの鹿島です。白砂青松の残る島は、多くの俳人が風流を楽しんだり、夏に人々は清涼を求め舟遊びに出かけたりするなど、自然をうまく活用し心の癒しの場所となっていました。

もう1つは、昭和30年代以降の「観光」の顔を持つ鹿島です。北条市は観光地として売り出し、博物展示館や国民宿舎の建設、またレジャーブームに後押しされ、かつては年間15万人もの来島者でにぎわっていました。



③ 現状と課題

近年のレジャーの多様化や余暇の過ごし方の変化などにより、現在の来島者数は年間3万人程度にまで落ち込んでいます。また、長年の風雨や台風による塩害などから島全体の土壌風化が進んでいるほか、野生鹿による樹木への食害で森林が荒れるなど、様々な要因により魅力が低下しています。

④ 活性化に向けた方針

現状と課題を整理すると、景観環境の悪化や建築物の老朽化など、鹿島が持つ本来の価値が低下していることがわかります。

将来像、あるべき姿は、今ある資源を最大限に活用し、人が集まり、人が癒される島となることです。こうした考察をもとに鹿島は、活性化に向け『かつての魅力を取り戻す』を方針とします。

⑤ スローガン

『かつての魅力を取り戻す』方針を共有するため、スローガンを掲げます。

Re 鹿島

かつての鹿島には多くの自然があった。

多くの人が集まり、にぎわいがあった。

地域の誇る風光明媚な宝。

そんな鹿島をもう一度再生したい。

かつての鹿島を再び。

それが、Re 鹿島。

◎ まちづくりものがたり

スローガンを達成した将来イメージを『まちづくりものがたり』として記します。

地域と行政が
一体となって、
自然を守り
人が集う場所として
取り組みを進めたことで、
交流の場と癒しの場の
2つの顔をもつ島として
再生した鹿島。

にぎわいと
静けさが調和し、
誰からも愛され
何度でも行きたくなる
場所となっている。

自然を活かした
学習会やアウトドアを通じ
交流を深める人や、
日々の喧噪を忘れ
ゆったりのんびり過ごす人で、
地域内外から
多くの人
が
集まっている。



⑦ 取り組みアイデア

まちづくりものがたりを達成するために必要な取り組みを掲げます。

資源活用

河野氏にまつわる旧跡や玉理・寒戸島（伊予の二見）など鹿島に残る多くの資源を見つめ直し、活用することで魅力化を図ります。昭和を切り口とした資源活用の検討も進めます。

取組 01 自然を活かした魅力づくり

山や海、生態系などの自然を体験・学習できるプログラムを充実し、自然を活かした魅力をつくります。

主な内容：自然体験学習会の開催/ビューポイントの創出

取組 02 歴史文化を活かした魅力づくり

河野氏に関連した史跡を体験・学習できるプログラムを充実し、歴史文化を活かした魅力をつくります。

主な内容：文化財めぐりの開発/地元学の開催

取組 03 北条鹿島博物展示館の活用

北条鹿島博物展示館の活用を検討し、新たな魅力をつくります。

主な内容：自然体験型企画展示/
河野氏にまつわる企画展示



取組 04 昭和をキーワードとする活性化

昭和時代に癒しの場所であった鹿島の「癒し」を体感できる魅力をつくります。

主な内容：藤・桜の植樹/鹿島音頭・鹿島小唄の普及

環境整備

島全体の景観整備に努めるとともに、良好な森林環境の維持に向けた鹿対策や条件整備を図ることで、鹿島の価値を高めます。

取組 05 美しい景観づくり

野生鹿などの生態系調査や森林の維持管理などを行い、景観環境の保全を図ります。

主な内容：野生鹿対策/森林維持・管理



取組 06 魅力を高める施設整備

既存施設の改修や鹿島の景観に配慮した新たな施設整備を進め、魅力を高めます。

主な内容：北条鹿島博物展示館の整備/鹿島渡船建造

情報発信

興味・共感につながる効果的な情報発信を行うなど、戦略的なプロモーション^(※1)によって鹿島の魅力を伝えます。

取組 07 多様な媒体を活用した魅力発信

テレビ、雑誌、ラジオなどの各種媒体を始め、ホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービス^(※2)なども活用し、魅力を発信します。

主な内容：各種パンフレットの作成/イメージ映像の制作

交流促進

地域が一体となり、鹿島ならではの魅力あるイベントを打ち出し集客を図ります。訪れる人との交流機会を設けることで、地域の活力を育みます。

取組 08 島を舞台としたイベント

多くの人を訪れるきっかけづくりとなるイベントを開催し、にぎわいをつくります。

主な内容：^{かざはや}風早レトロまつり/地域主催のイベント

取組 09 集いの場づくり

多くの人が集まる場づくりを進め、交流の機会を創出します。

主な内容：キャンプ・遠足の誘致/大しめ縄張り替えを活かした誘客

協働推進

地域住民や各種団体などが連携し、それぞれの強みや役割を活かすことで継続する取り組みを行っていきます。協働に向けた人材発掘・育成にも取り組みます。

取組 10 地域主体の組織づくり

新たな魅力や価値を生み出すため、まちづくり協議会^(※3)、NPO^(※4)、大学など様々な団体が連携した組織体制を整えます。

主な内容：地域協働組織の推進

※1 プロモーション：宣伝活動全般のこと

※2 ソーシャル・ネットワーキング・サービス：インターネットを通じて人と人のつながりを促進し、コミュニティの形成を支援するサービス

※3 まちづくり協議会：地域におけるまちづくりを総合的かつ主体的に担う団体で、その地域の住民や住んでいる土地のつながりに基づいてつくられた団体などで構成され、自律的な運営が行われているもの

※4 NPO：非営利団体（NonProfit Organizationの略）。様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し収益を分配することを目的としない団体の総称

駅前通り周辺に 訪れるための動機をつくる

(3) 駅前通り周辺

① 概況



駅前通り周辺には、「北条駅前商店街」「北条辻町商店街」「北条本町商店街」の3つの商店街のほか、季節ごとのイベントや祭りでにぎわう^{みよしよがわ}明星川、^{ひがしまちうら}東町浦公園などがあります。

懐かしさを感じる店舗の看板や焼き杉を使った昔ながらの建物、裏路地など、魅力的な場所や地域資源が点在しています。

公共交通機関としては、鉄道(JR予讃線)、路線バス、渡船があります。



② 昭和の頃

3つの商店街には多くの店舗が並び、住民は日常の買い物に商店街を利用していました。各商店街が開催する夏の夜市や年末大売り出しをはじめ、明星川周辺で開催される日曜市や道踊りなどのイベントにはたくさんの方が集まっていました。

また伊予北条駅は北条の玄関口として多くの利用客があり、駅前には通学する中・高生や短大生の待ち合わせ場所となるなど、地域の「交流」の場としてにぎわっていました。



③ 現状と課題

人口の流出により地域の若者は減り、公共交通機関の利用者も減少しています。また商店街では、大型店舗の出店、駐車場や後継者不足などから店舗の数が減り続けています。現在では、空き地や空き店舗が目立ち、まちに活気のない印象を与えています。

④ 活性化に向けた方針

現状と課題を整理すると、空き地、空き家や空き店舗の増加によりにぎわいが失われていることがわかります。

将来像、あるべき姿は、空き店舗への入居促進や歩行者天国にしたイベント開催など新たな魅力を創出し、人が訪れる目的をつくることです。

こうした考察をもとに駅前通り周辺は、活性化に向け『訪れるための動機づけを行う』を方針とします。

⑤ スローガン

『訪れるための動機づけを行う』方針を共有するため、スローガンを掲げます。

期待をカタチに

かつて駅前通り周辺は多くの人が行き来していた。

多くの店が立ち並び、子どもの笑い声が響いていた。

それが今では店が減り、人が減り、活気がなくなった。

ここを訪れる理由がなくなっている。

今この場所に必要なこと、

それは、訪れるための動機づけ。

『行こう』をつくろう。

◎ まちづくりものがたり

スローガンを達成した将来イメージを『まちづくりものがたり』として記します。

住民や商店主、
学生などが連携し、
掘り起こした地域の宝や
資源を活かした
取り組みを進めたことで、
まちににぎわいが
戻ってきた。

ほっとする雰囲気や
元気なお店、
人とのあたたかい交流が
訪れるきっかけを生み、
子どもからお年寄りまで、
多くの人が集まる
コミュニティの場として、
誰もが楽しい時間を
過ごしている。

鹿島の魅力と相まって、
常にわくわくするまちとして
成長を続け、
ここでの活気が
北条地域全体に
広がっている。



⑦ 取り組みアイデア

まちづくりものがたりを達成するために必要な取り組みを掲げます。

資源活用

空き地・空き店舗などを活用した商業・サービス施設の集積を目指すことで魅力化を図ります。昭和を切り口とした資源活用の検討も進めます。

取組 11 商店の魅力向上

空き店舗を活用した、地域ニーズに合う新たな店舗の出店を支援するとともに、商業者向けの研修などを開催し、商店の魅力の向上を図ります。

主な内容：商店街の空洞化対策/商業者向け講座・研修

取組 12 郷土料理を活かした魅力づくり

郷土料理を見つめ直すとともに食文化の掘り起こしを進め、新たな魅力をつくります。

主な内容：鯛めしのブランド化/食文化の掘り起こし

取組 13 昭和をキーワードとする活性化

昭和時代に地域の交流の場所であった駅前通り周辺の「地域の交流」を体感できる魅力をつくります。

主な内容：日曜市の開催/道踊りの復活

環境整備

商業機能に加え、複合的な集客・交流機能の形成や、既存資源とのネットワーク化を図ることで、駅前通り周辺の価値を高めます。

取組 14 魅力ある景観づくり

統一的な演出や安全・安心な街並み空間づくりを進め、魅力ある景観を目指します。

主な内容：統一的なまちの演出/歩行者の安全確保

情報発信

興味・共感につながる効果的な情報発信を行うなど、戦略的なプロモーションによって駅前通り周辺の魅力を伝えます。

取組 15 多様な媒体を活用した魅力発信

テレビ、雑誌、ラジオなどの各種媒体を始め、ホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービスなども活用し、まちの魅力を発信します。

主な内容：各種パンフレットの作成/商店街の誘客・宣伝活動

交流促進

地域住民や商業者が主体となり、地域ならではの魅力あるイベントを打ち出し集客を図ります。訪れる人との交流機会を設けることで、地域の活力を育みます。

取組 16 駅前通り周辺を舞台としたイベント

多くの人を訪れるきっかけづくりとなるイベントを開催し、にぎわいをつくります。

主な内容：風早^{かざはや}レトロまつり/商いにぎわいの支援

取組 17 コミュニティの場づくり

様々な人が交流できる場づくりを進め、つながりの強化を図ります。

主な内容：地域グループの活動/地域交流拠点の場づくり

協働推進

地域住民や各種団体などが連携し、それぞれの強みや役割を活かすことで継続する取り組みを行っていきます。協働に向けた人材発掘・育成にも取り組みます。

取組 18 地域主体の組織づくり

新たな魅力や価値を生み出すため、まちづくり協議会、NPO、大学など様々な団体が連携した組織体制を整えます。

主な内容：地域協働組織の推進

(4) 中核エリアの取り組み体系図

ここから、ひとつに。

	5つのポイント	鹿島	駅前通り周辺
中核エリア	資源活用 地域の資源を様々な視点で見つめ直し活用することで、既存の魅力を磨き上げるとともに、新たな魅力の創出を図ります。	河野氏にまつわる旧跡や玉理・寒戸島（伊予の二見）など鹿島に残る多くの資源を見つめ直し、活用することで魅力化を図ります。昭和を切り口とした資源活用の検討も進めます。	空き地・空き店舗などを活用した商業・サービス施設の集積を目指すことで魅力化を図ります。昭和を切り口とした資源活用の検討も進めます。
	環境整備 地域住民の満足度を高め誇りを育むとともに、訪れる人にとっても魅力ある空間づくりを図ります。	島全体の景観整備に努めるとともに、良好な森林環境の維持に向けた鹿対策や条件整備を図ることで、鹿島の価値を高めます。	商業機能に加え、複合的な集客・交流機能の形成や、既存資源とのネットワーク化を図ることで、駅前通り周辺の価値を高めます。
	情報発信 地域の魅力を効果的かつ効率的に伝えることで、一人でも多くの人の興味・共感につなげ、参加・共有へと広がっていきます。	興味・共感につながる効果的な情報発信を行うなど、戦略的なプロモーションによって鹿島の魅力を伝えます。	興味・共感につながる効果的な情報発信を行うなど、戦略的なプロモーションによって駅前通り周辺の魅力を伝えます。
	交流促進 集客を図るに加え、訪れる人との交流の場をつくることで、地域住民の機運やおもてなしの心の醸成を図ります。	地域が一体となり、鹿島ならではの魅力あるイベントを打ち出し集客を図ります。訪れる人との交流機会を設けることで、地域の活力を育みます。	地域住民や商業者が主体となり、地域ならではの魅力あるイベントを打ち出し集客を図ります。訪れる人との交流機会を設けることで、地域の活力を育みます。
	協働推進 地域住民、関係団体、大学、民間事業者、行政などが協働することで、それぞれの強みや役割を活かし、取り組みが継続する環境を整えます。	地域住民や各種団体などが連携し、それぞれの強みや役割を活かすことで継続する取り組みを行っていきます。協働に向けた人材発掘・育成にも取り組みます。	地域住民や各種団体などが連携し、それぞれの強みや役割を活かすことで継続する取り組みを行っていきます。協働に向けた人材発掘・育成にも取り組みます。

Re 鹿島

期待をカタチに

『広域エリア』
の
活性化に向けて

5

つながりを大切にした 住みたいまちを目指す

(1) 広域エリア

① 区域

広域エリアは、中核エリアを除く、北条地域全体(浅海・立岩・難波・正岡・北条・河野・粟井)を区域とします。

② 現状と課題

北条地域は、西に斎灘^{いっきなだ}、東には高縄山とその地形と自然の恵みを活かし、各地区が特色ある集落を形成してきました。住民はこれら先人が守り受け継いできた自然や文化を誇りに思い、後世に伝えようとコミュニティづくりを進めてきたことから、今も地区内における住民同士の絆は深く、地域行事には多くの老若男女が参加しています。

しかし、地区内における住民のつながりは強いものの、互いの地区同士の交流は薄れてきました。当地域は中世の豪族河野氏にゆかりの砦^{とりで}や秋祭りをはじめ、点在するお堂などを結んだ風早八十八ヶ所など、全地区に共通する史跡や文化が地区をまたがって残っています。

こうした地域資源の活用などを軸に、地区間のコミュニティを深め、7地区が一緒に地域を盛り上げていくことが今後の北条地域の発展にとって重要な課題と言えます。

③ 活性化に向けた方針

現状と課題を整理すると、地区内の団結力は強いものの、地区同士の交流が希薄になりつつあることがわかります。将来像、あるべき姿は、人との絆を深め、地区の枠を越えたコミュニティをつくることです。

こうした考察をもとに広域エリアは、活性化に向け『つながりを強化する』を方針とします。

④ スローガン

『つながりを強化する』方針を共有するため、スローガンを掲げます。

北条地域は ひとつだ

北条という名前があるということ。
それはつまり、つながっているということ。
7つの地区がつながり、ひとつになる。
過去からつながってきたこの北条を、
未来のためにもひとつにするのは、
今いる私たちの使命だ。

あさなみ 浅海地区

(2) まちづくりものがたり

① 地区の紹介

住民で登山道を整備したシンボリック存在の^{めいし}名石山や白砂で輝く^{しんぼた}新畑海岸など、山と海の自然の恵みに囲まれた浅海地区。昭和初期まで梨の産地として名を馳せていましたが、現在は柑橘栽培が基幹産業となっています。

伝統が継承される獅子舞



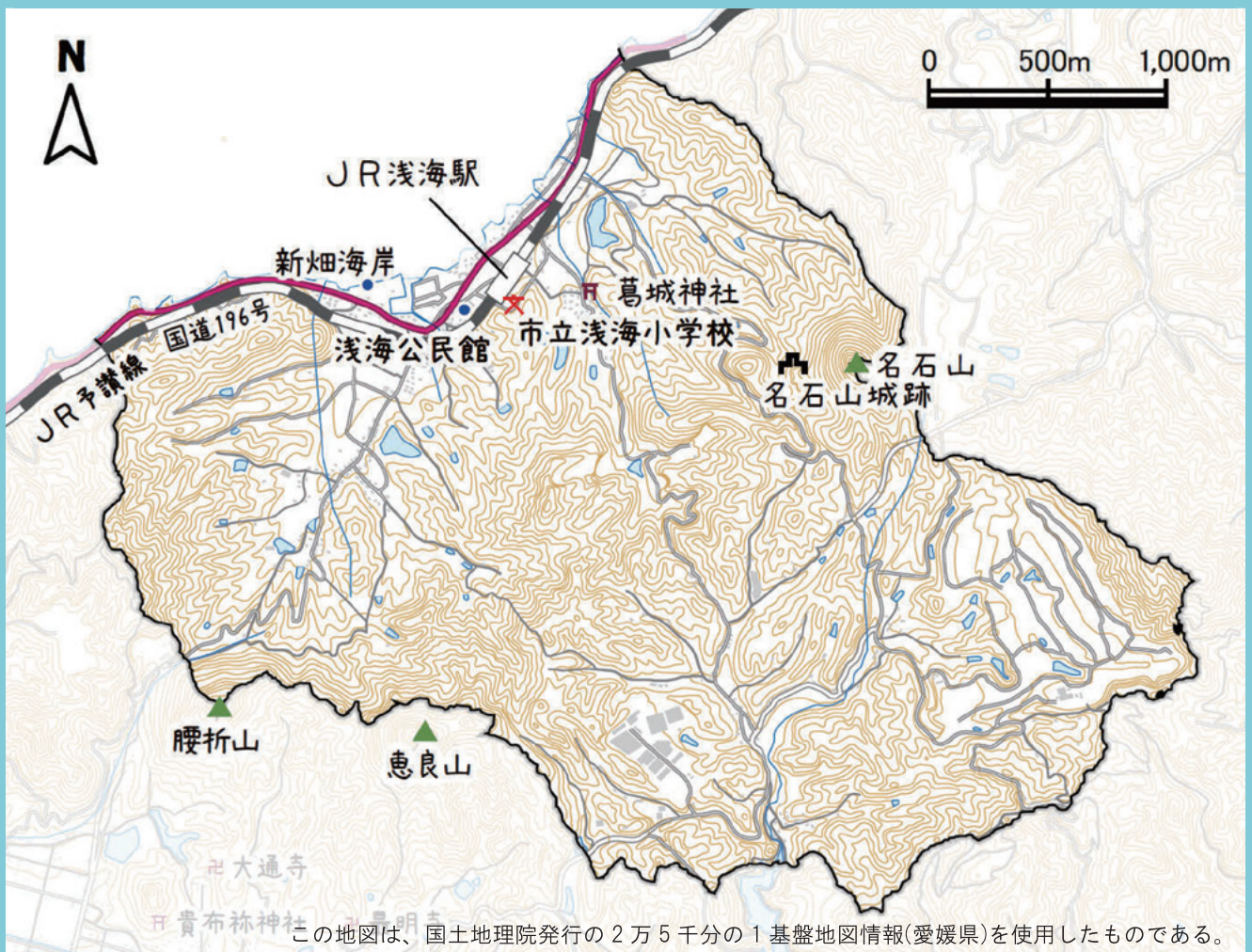
住民手づくりのコスモス畑



鴻之坂から望む浅海地区



地区の地図



この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1基盤地図情報(愛媛県)を使用したものである。

② まちづくりものがたり(将来の活性化の姿)

若手の農業や漁業の後継者が増え、地域全体に活気が戻ってきた。若者の定住により子ども数も増えたことで、ふれあいの場や獅子舞などの伝統文化を継承できる場づくりが生まれている。地区内を通る遍路道を活かし、人情に厚い雰囲気づくりに余念がな

い。

③ 住民主体の取り組みアイデア

取り組みアイデア 01 : 自然を活かすクリーンな魅力づくり

子どもや若者を中心に、地区の自慢「名石山」の登山道整備や休耕田への花植えなどに力を入れ、自然の魅力を活かします。

取り組みアイデア 02 : 厚い人情の田舎リゾート

マリンスポーツや特徴的な古民家などを利用し、厚い人情があふれる、おもてなしのある田舎リゾート地として、家族連れや若者が集まる仕掛けをつくります。

取り組みアイデア 03 : まちの担い手づくり

浅海獅子舞保存会による伝統文化の継承や農家による農業指導など、経験豊かな人材を活用し、次世代の担い手を育てます。

たていわ 立岩地区

(3) まちづくりものがたり

① 地区の紹介

緑と水の宝庫、高縄山系の自然と共存し生活を営む立岩地区。色彩豊かなツツジに包まれる貫之山^{つらゆきさん}をシンボルとして整備してきました。また弓祈禱^{ゆみぎとう}など山村に古くから伝わる伝統行事が継承されています。

地区内外の人が集まる山麓市^{さんろくいち}



自然学習体験の立岩ダッシュ村



貫之山に咲くつつじ



地区の地図



この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1基盤地図情報(愛媛県)を使用したものである。

② まちづくりものがたり(将来の活性化の姿)

自然の中で子育てを望む若者の定住が増え始め、運動場から聞こえてくる子どもの声がいぎやかになった。お年寄りも子どもとの交流の場が増えたことで生きがいの一つとなり、健康で長生きできる環境となった。新たに考案した山の幸を活かした産品が好評を博し、多くの人々が食事や買い物に訪れ、新たな産業に結びついている。

③ 住民主体の取り組みアイデア

取り組みアイデア 01 : 山・川・田園の魅力みがき

貫之山のツツジの管理、休耕田への花植えのほか、高縄山や立岩川などの自然環境を活用し、山・川・田園の魅力を引き出します。

取り組みアイデア 02 : 来訪者を受け入れる場づくり

地区の自然を楽しめ、食材を味わえる山麓市の継続開催のほか、来訪者が利用できる民宿や農園など来訪者の新たな受け入れ体制を確立します。

取り組みアイデア 03 : 住民支え合いの地区づくり

日常生活での声掛けや買い物、通院の手助けなど、住民同士が支え合えるコミュニティづくりに取り組み、ずっと住み続けられる地区を目指します。

なんば 難波地区

(4) まちづくりものがたり

① 地区の紹介

河野氏の砦^{とりで}があった恵良山^{えりょうさん}を始め、道の駅や北条スポーツセンターが立地する波妻^{はづま}の鼻周辺など豊かな自然にあふれる難波地区。住民は、俳人・小林一茶が旅した道「一茶の道」や国指定天然記念物エヒメアヤメなど文化や自然を守ろうと保存会などを結成し、難波の魅力を継承しています。

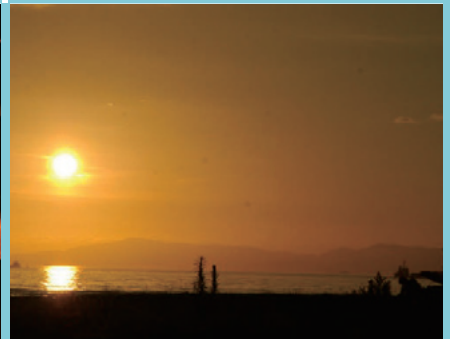
腰折山に咲くエヒメアヤメ



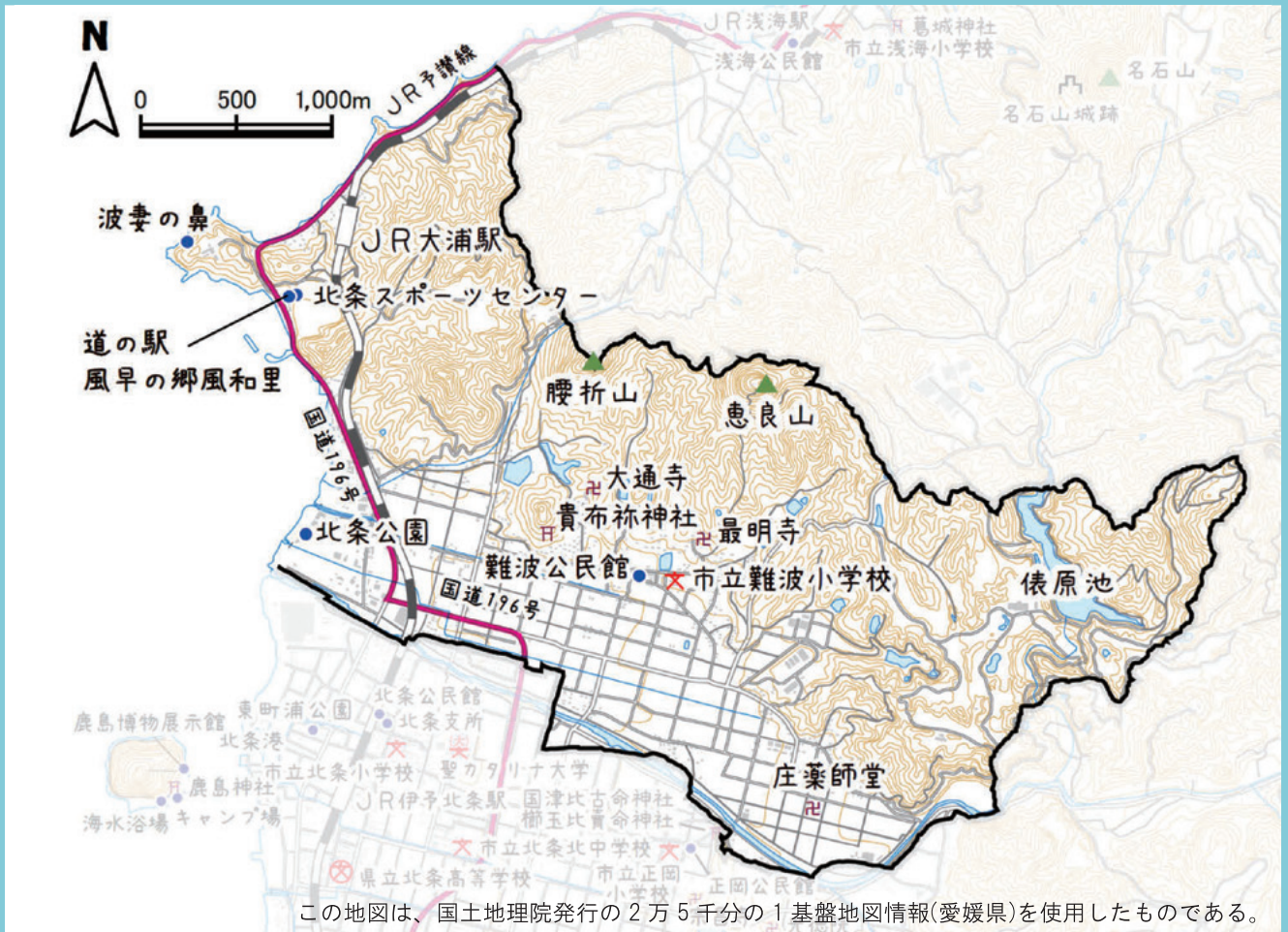
お盆の行事、火やろ



モンテッチ海岸の夕暮れ



地区の地図



② まちづくりものがたり(将来の活性化の姿)

農業後継者として若者が戻り始めたことから、子どもの数も増え始めている。お年寄りを中心に、先人が守り受け継いできた伝統文化の継承が盛んに行われ、三世代交流の場が多くなった。また地区に残る自然の素晴らしさを学ぶ機会をつくり、地域内外の人に難波への愛着を深める取り組みを進めている。

③ 住民主体の取り組みアイデア

取り組みアイデア 01 : 各団体連携による自然の魅力みがき

腰折山に自生するエヒメアヤメの保存や、恵良山、波妻の鼻周辺の海岸などの自然を守り、魅力を次世代に引き継ぐ活動を各団体と連携します。

取り組みアイデア 02 : 郷土愛の醸成と絆づくり

地区住民の郷土に対する愛情を深めるとともに、地区出身者や地区外の住民のふるさとの情報発信や交流の場づくりに取り組みます。

取り組みアイデア 03 : 文化・芸能の後継者育成

しょうやくしどう
庄薬師堂の文化財保存や伊予万歳、火やろなどの伝統を若者に継承するとともに後継者を育てます。

まさおか 正岡地区

(5) まちづくりものがたり

① 地区の紹介

立岩川の支流が流れ水の豊かな正岡地区。緑の田畑に囲まれた中心部には、由緒ある2つの神社が鎮座し、秋祭りでは大いににぎわいます。南部には工業団地が造成され、農業と工業が共存しています。

ホテルの幼虫の放流



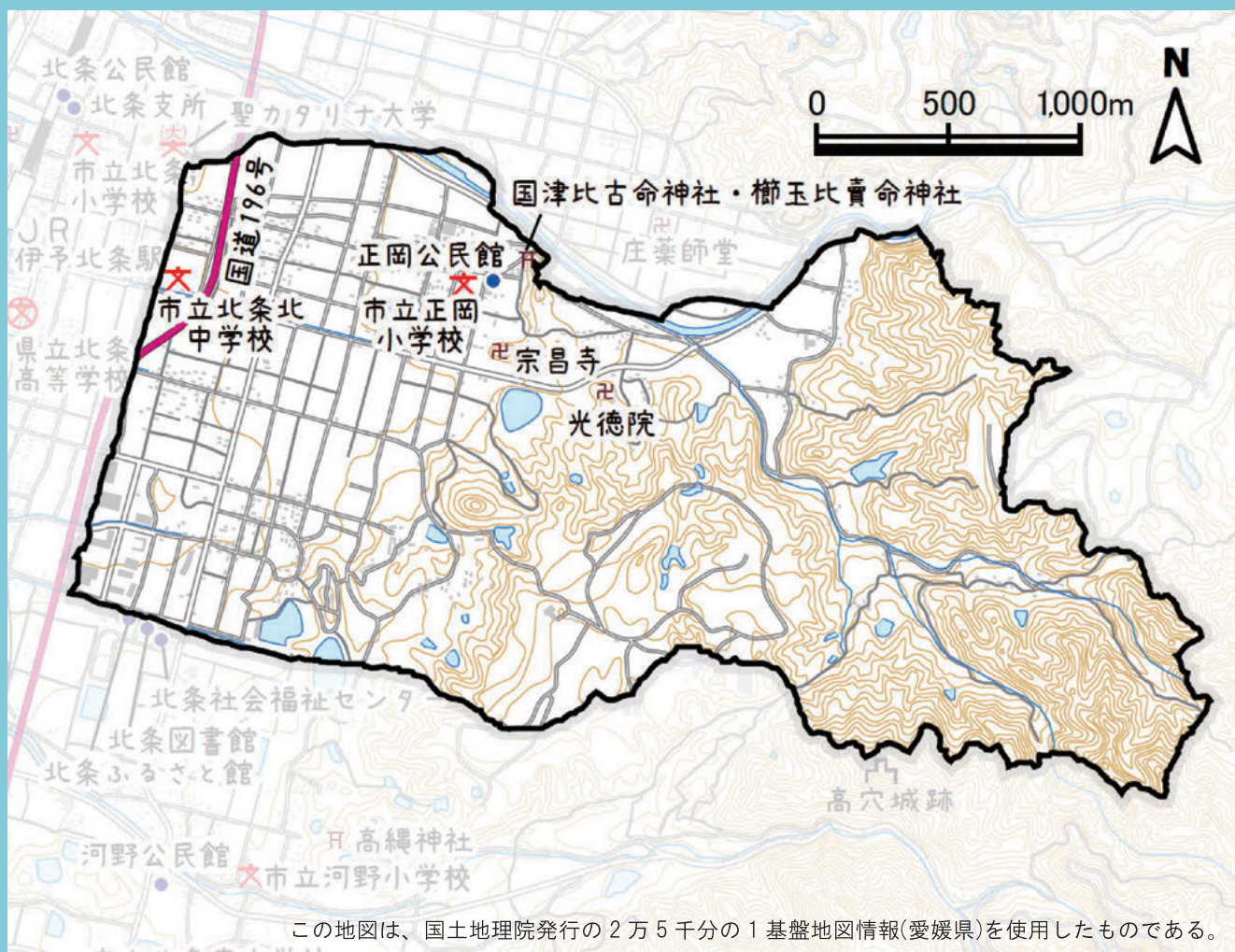
かざはやひのこと
風早火事祭り



多くの企業が集まる工業団地



地区の地図



この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1基盤地図情報(愛媛県)を使用したものである。

② まちづくりものがたり(将来の活性化の姿)

農業の後継や工業団地企業への就職など働く場所ができ、地区外からも住み始め、新旧の住民で構成する若者グループのメンバーが増えた。若者グループは秋祭りだけでなく、伝統芸能の保存やホタルの育成など地区の文化や自然を活かした活動にも、お年寄りや女性と協力し合い、次世代の正岡を担う子どもたちを育てている。

③ 住民主体の取り組みアイデア

取り組みアイデア 01 : 子育て一番のまち

安心して出産し育児ができるように、地域ぐるみで子どもを育てる環境をつくるとともに、親子同士が楽しめるコミュニティづくりに取り組みます。

取り組みアイデア 02 : お年寄りの活躍の場づくり

お年寄りが持つ伝統文化の知恵や技術を次代に伝えるなど、地区で活躍できる場をつくり、のびのび元気で暮らせる雰囲気醸成します。

取り組みアイデア 03 : 笑顔あふれるコミュニティづくり

ホタル育成などの自然保護活動や獅子舞・秋祭りなどの伝統継承を通じ、住民同士が絆を深めるコミュニティづくりを充実させます。

ほうじょう 北条地区

(6) まちづくりものがたり

① 地区の紹介

幼稚園・保育園、小・中・高校、大学の教育機関がそろった北条地区。鹿島を舞台に春の鹿島祭りや夏の風早海祭り、秋祭りなど四季折々の行事を楽しめます。また北条港西方 13.5 km 沖に浮かぶ安居島でとれるひじきは人気があります。

憩いの場所 東町浦公園



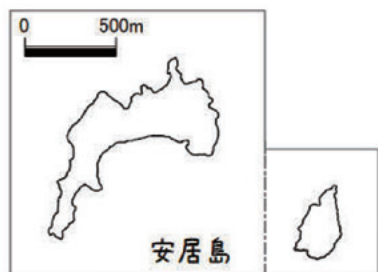
明星川でのみこしみそぎ



北条港と鹿島



地区の地図



この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1基盤地図情報(愛媛県)を使用したものである。

② まちづくりものがたり(将来の活性化の姿)

地区外から若い経営者が空き店舗に入り、若者が集える場所を作っている。新旧の住民の付き合いも活発となり、ともに地域を盛り上げる原動力となった。また女性が地域の活動に積極的に参加し、お年寄りが子どもたちに伝統行事を伝授する場づくりが進むなど、老若男女の交流と団結力が深まっている。

③ 住民主体の取り組みアイデア

取り組みアイデア 01 : 団結力の強化

近所づきあいやイベントなどを通じて、子どもからお年寄りまで世代を超えた交流と団結力が深まるコミュニティづくりを充実させます。

取り組みアイデア 02 : 祭りなどによるにぎわいづくり

権^{かい}練^ねりや秋祭り、亥^いの子などの行事を活かし、多くの人が集まり交流を深めることができるにぎわいづくりに取り組みます。

取り組みアイデア 03 : 安全安心なまちづくり

子どもからお年寄りまでが安全安心に暮らせるように、見回りパトロールや防犯マップの作成などに取り組みます。

この河野地区

(7) まちづくりものがたり

① 地区の紹介

中世伊予の豪族、河野氏発祥の地であり、同氏ゆかりの砦跡も多く残る河野地区。高縄山ふもとに位置し、河野川と高山川こうやまがわの豊かな水が瀬戸内海まで流れ、おいしい魚を育てています。また図書館やふるさと館などの公共施設のほか文化の森公園があります。

河野氏の菩提寺 善応寺



伝統が継承される獅子舞



河野氏発祥の地 河野地区



地区の地図



この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1基盤地図情報(愛媛県)を使用したものである。

② まちづくりものがたり(将来の活性化の姿)

河野氏の歴史を顕彰し^{けんしょう}伝統芸能や史跡などを伝承・保存するとともに、高縄山や河野川などの自然環境の保護にも取り組んでいる。この活動が魅力向上につながり、若者を含む多くの定住者が増えた。その若者の中からリーダーが育ち、リーダーを中心に三世代間交流の場づくりが進んでいる。

③ 住民主体の取り組みアイデア

取り組みアイデア 01 : 世代を超えた結びつきの強化

公民館活動や見守り活動などを通じた世代間の結びつきを深め、安心して住みやすいまちを目指します。

取り組みアイデア 02 : 河野氏をはじめとした地域資源の伝承

善応寺をはじめとする河野氏の文化や史跡、伊予万歳・獅子舞の伝統芸能のほか、高縄山の自然など、地域資源をPRするとともに次世代に引き継ぎます。

取り組みアイデア 03 : 地区リーダーの育成

河野の自然や文化、コミュニティづくりなどの活用策や魅力を理解し、まちづくりをけん引するリーダーを地区全体で育成していきます。

あわい 栗井地区

(8) まちづくりものがたり

① 地区の紹介

松山中心部に近いことから、西部に住宅地が増えている栗井地区。東部は果樹園が広がっています。住民同士のつながりも強く、住民で登山道の整備や植樹をした宅並山^{たくなみさん}は地区のシンボリック的存在となっています。

ふれあいマーケット



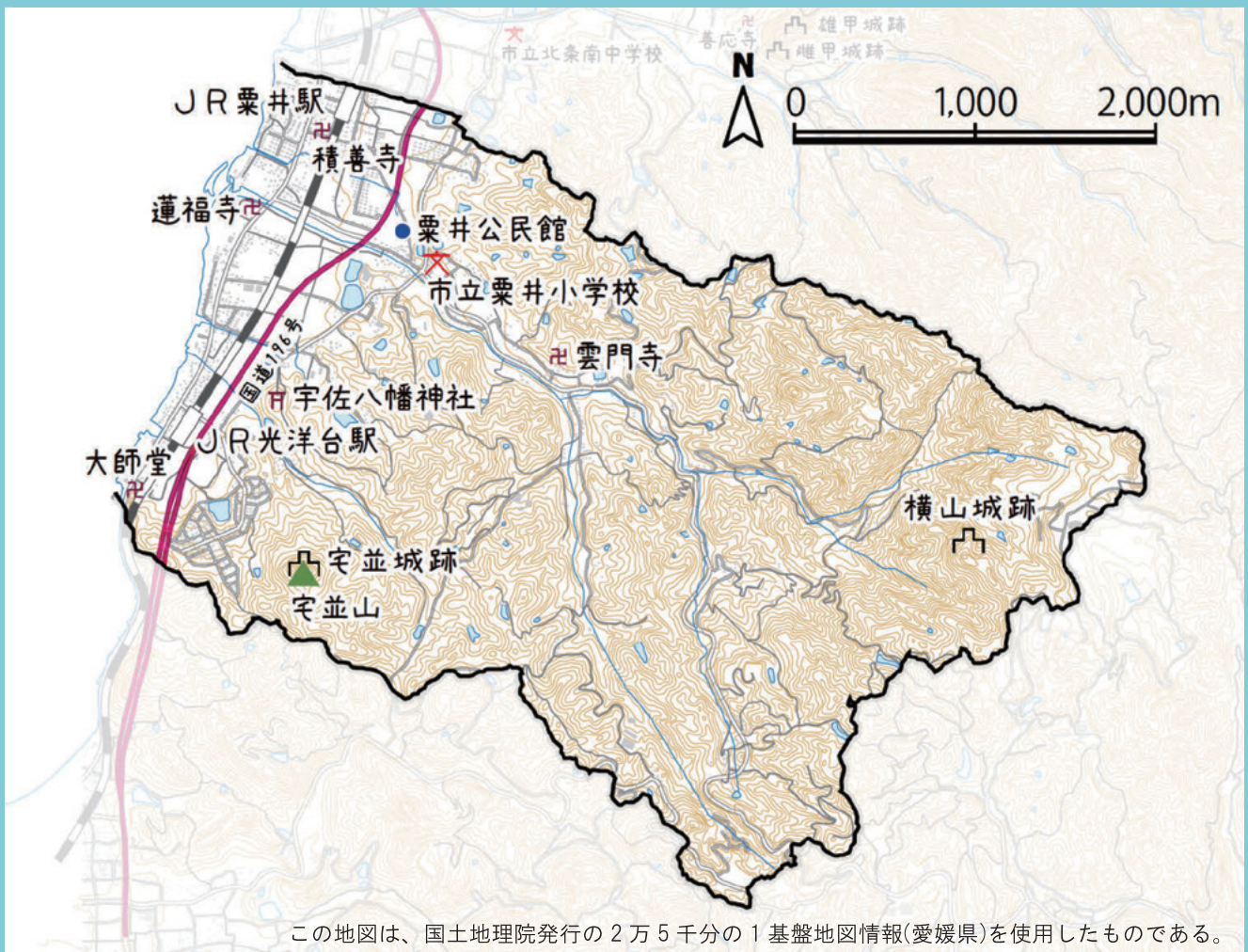
地区のシンボル宅並山



幹線道路が走る栗井地区



地区の地図



② まちづくりものがたり(将来の活性化の姿)

新興住宅が造成され、人口が増え活気にあふれている。もともとの住民は、移住してきた人々との交流を図ろうと、地域行事に積極的に誘い、みんなで支え合うまちづくりが進んでいる。また山や海・川など自然を活かした新たな魅力づくりにも取り組み、住む人も訪れる人も楽しめる地区になっている。

③ 住民主体の取り組みアイデア

取り組みアイデア 01 : 心の通う近所づきあい

住民同士のあいさつや声掛け、集いの場づくりなど心の通う近所づきあいを深め、ふれあいや助け合いが活発な地区をつくれます。

取り組みアイデア 02 : 自然を活かした名所づくり

宅並山や粟井川などの自然を守り活かすことで、住む人、来る人を魅了する名所づくりに取り組みます。

取り組みアイデア 03 : 支え合う地域活動の推進

粟井ふれあいマーケットや夏祭り、秋祭り、スポーツ行事などを古くからの住民と新しい住民との交流の場として活用し、みんなで支え合う地区づくりに取り組みます。

(9) 広域エリアにおける取り組みアイデア

まちづくりものがたりを達成するために必要な取り組みを掲げます。

資源活用

河野氏にまつわる資源や地場産品など北条地域の宝を活用することで、魅力化を図ります。

取組 19 地域の宝を活かした魅力づくり

河野氏にまつわる資源や風早八十八ヶ所などの北条地域の宝を磨き、発掘し、その資源を活かした魅力をつくります。

主な内容：河野氏の顕彰/新たな名所づくり

取組 20 地域産業の活性化

地場産品を活かした魅力づくりの取り組みを強化し、地域産業の活性化を図ります。

主な内容：地場産品の普及/道の駅の機能強化

環境整備

快適で住みやすい居住環境を維持しながら、集客・交流機能の形成や、利便性の高い住環境への向上などを図ることで、広域エリアの価値を高めていきます。

取組 21 暮らしを支える機能整備

安全・安心な道路環境の整備や地域防災力の向上を図り、生活しやすい居住環境づくりを進めます。

主な内容：街路・幹線道路整備/ため池整備

取組 22 交流施設の整備

スポーツ・レクリエーション施設や教育文化施設など交流拠点の充実を図ります。

主な内容：リフレッシュパーク整備/波妻の鼻の活用

取組 23 良好な景観づくり

北条地域を形づくる山・川・海の自然環境に対して、維持・管理を行い、環境保全を図るとともに、自然環境を活かした景観づくりを進めます。

主な内容：高縄山環境保全/ボランティアによる清掃活動

情報発信

興味・共感につながる効果的な情報発信を行うなど、戦略的なプロモーションによって広域エリアの魅力を伝えます。

取組 24 多様な媒体を活用した魅力発信

テレビ、雑誌、ラジオなどの各種媒体を始め、ホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービスなども活用し、北条地域の魅力を発信します。

主な内容：各種パンフレットの作成/イメージ映像の制作

交流促進

地域住民が主体となり、地域ならではの魅力あるイベントを打ち出し交流を図ります。訪れる人との交流機会を設けることで、地域の活力と絆を育みます。

取組 25 地域を舞台としたイベント

風早^{ひのこ}火事祭りなど固有の伝統やスポーツ活動を通じて、地域ににぎわいをつくれます。

主な内容：ダンジリを活用したイベント/各種スポーツイベント

取組 26 生涯学習の場づくり

文化活動や農業体験など生涯学習の場づくりを進め、多くの人との絆づくりを図ります。

主な内容：立岩ダッシュ村農業体験学習/地域活動の充実

協働推進

地域住民や各種団体などが連携し、地区の枠を超えた取り組みを進めます。協働に向けた人材発掘・育成にも取り組みます。

取組 27 地域主体の組織づくり

新たな魅力や価値を生み出すため、まちづくり協議会、NPO、大学など様々な団体が連携した組織体制を整えます。

主な内容：地域協働組織の推進

(10) 広域エリアにおける取り組み体系図

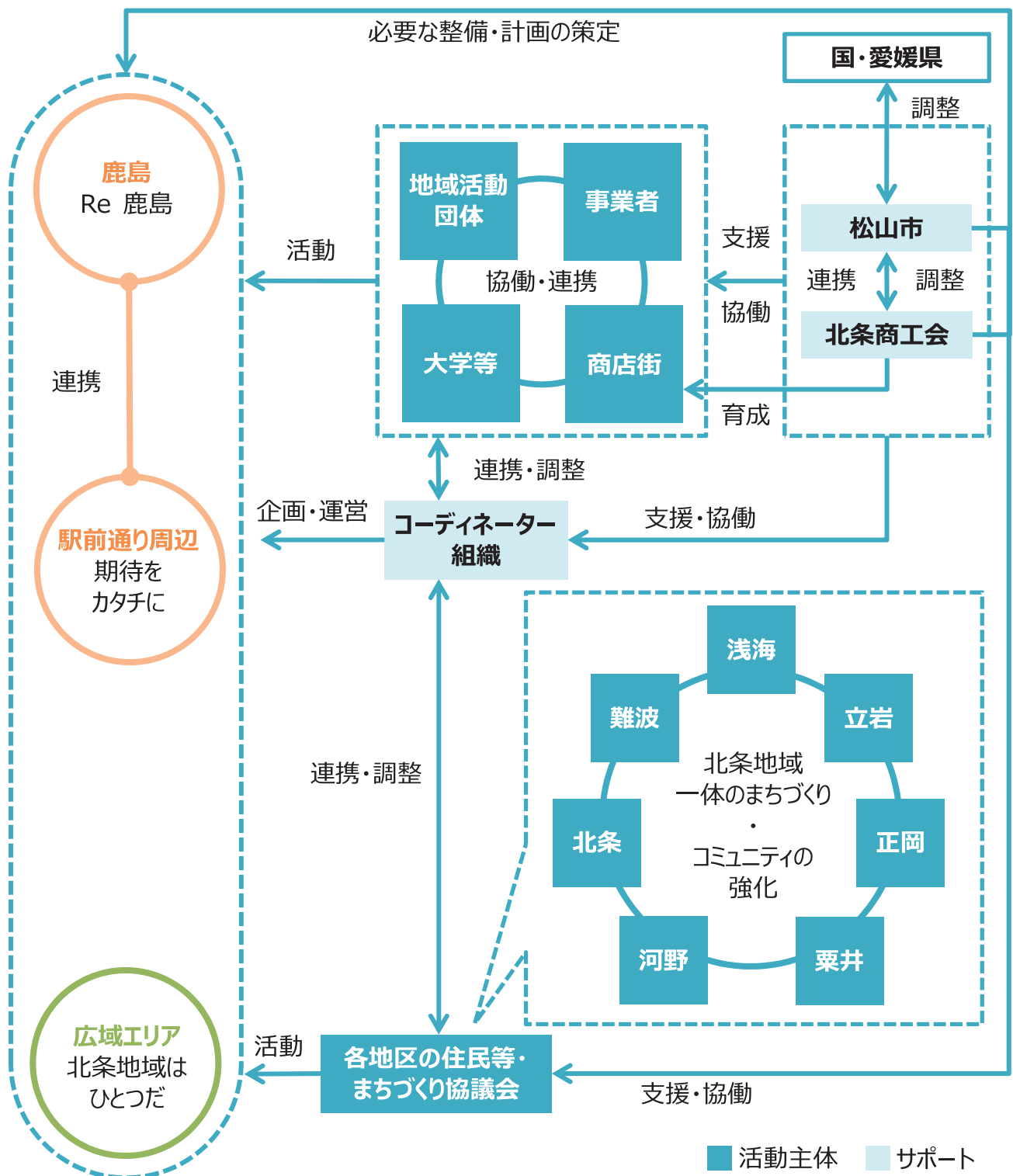
		北条地域はひとつだ
		5つのポイント
		内 容
広 域 エ リ ア	資源活用	地域の資源を様々な視点で見つめ直し活用することで、既存の魅力を磨き上げるとともに、新たな魅力の創出を図ります。
	環境整備	地域住民の満足度を高め誇りを育むとともに、訪れる人にとっても魅力ある空間づくりを図ります。
	情報発信	地域の魅力を効果的かつ効率的に伝えることで、一人でも多くの人の興味・共感につなげ、参加・共有へと広げていきます。
	交流促進	集客を図ることに加え、訪れる人との交流の場をつくることで、地域住民の機運やおもてなしの心の醸成を図ります。
	協働推進	地域住民、関係団体、大学、民間事業者、行政などが協働することで、それぞれの強みや役割を活かし、取り組みが継続する環境を整えます。
		河野氏にまつわる資源や地場産品など北条地域の宝を活用することで、魅力化を図ります。
		快適で住みやすい居住環境を維持しながら、集客・交流機能の形成や、利便性の高い住環境への向上などを行うことで、広域エリアの価値を高めていきます。
		興味・共感につながる効果的な情報発信を行うなど、戦略的なプロモーションによって広域エリアの魅力を伝えます。
		地域住民が主体となり、地域ならではの魅力あるイベントを打ち出し交流を図ります。訪れる人との交流機会を設けることで、地域の活力と絆を育みます。
		地域住民や各種団体などが連携し、地区の枠を超えた取り組みを進めます。協働に向けた人材発掘・育成にも取り組みます。

構想実現に向けた 連携体制

6

地域が一体となって 取り組みを進めます

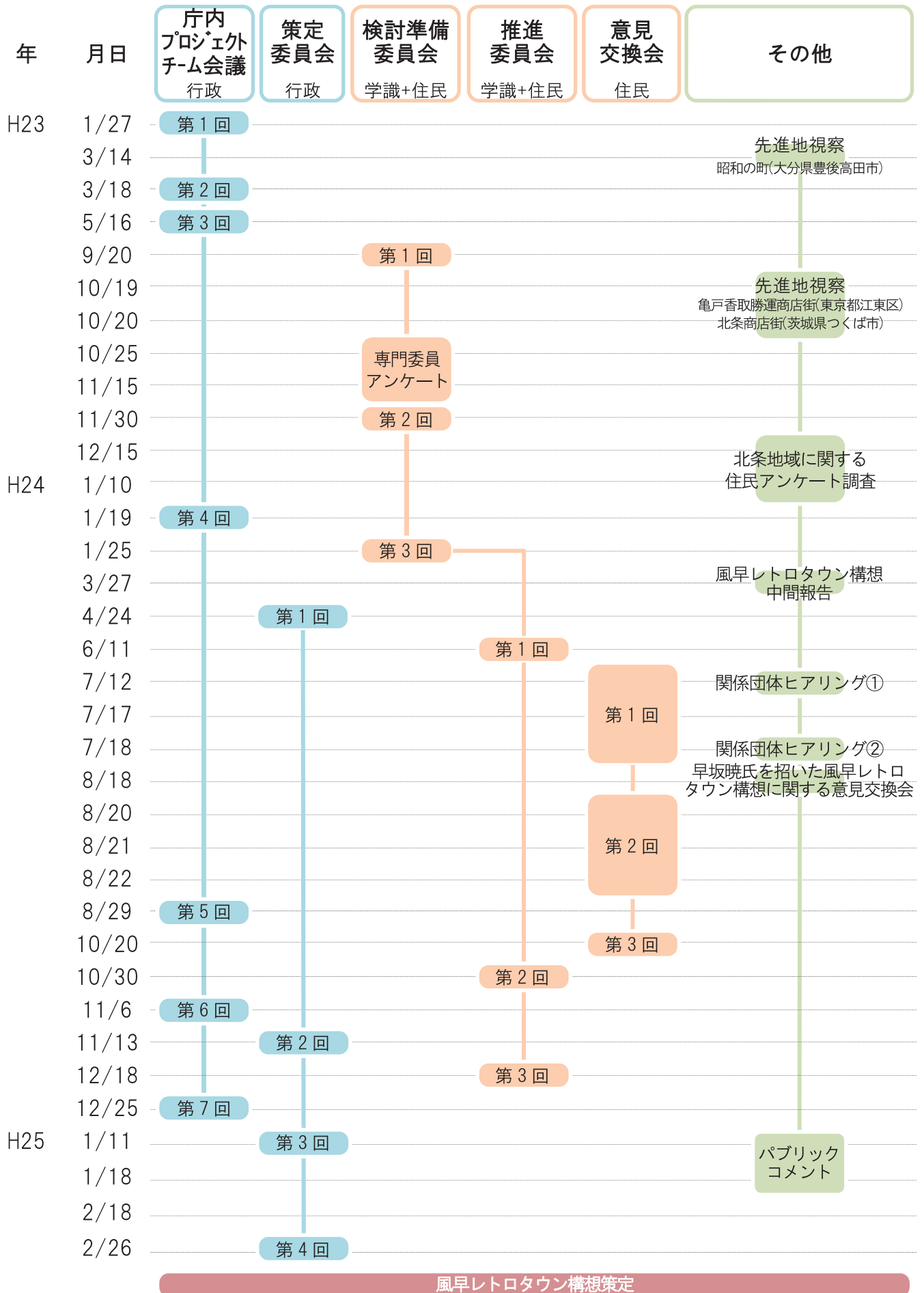
地域住民、事業者、NPO、まちづくり協議会、商工会、商店街、大学、行政が連携し、北条地域の活性化に向け、まちづくりを進めます。さらに、関係団体の代表者などを構成メンバーとするコーディネーター組織を設置し、地域が一体となった取り組みを企画・運営していきます。



參考資料

7

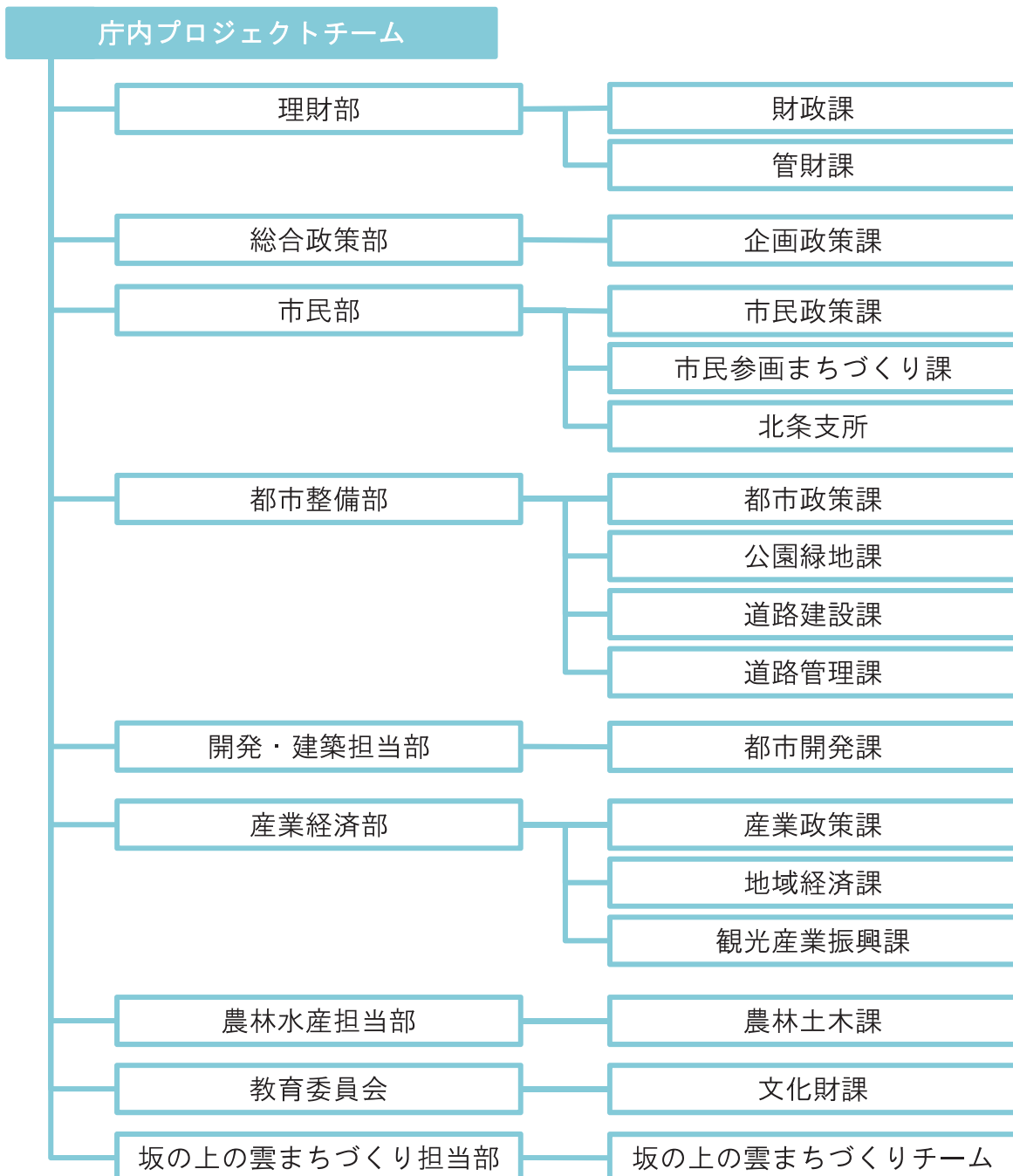
かざはや
(1) 風早レトロタウン構想策定検討経緯



(2) 風早レトロタウン構想策定庁内プロジェクトチーム

北条地域の活性化の指針となる「風早レトロタウン構想」を策定するため、庁内の関係各課で構成するプロジェクトチームを設置した(平成 23 年 1 月 27 日設立)。

■体制



(3) ^{かざはや}風早レトロタウン構想検討準備委員会

北条地域の活性化の指針となる「風早レトロタウン構想」を検討するため、風早レトロタウン構想検討準備委員会を設置した(平成23年9月6日～平成24年1月24日)。

■体制

風早レトロタウン構想検討準備委員会

属 性	職 名
委 員 長	坂の上の雲まちづくり担当部長
委 員	管財課長
委 員	都市政策課長
委 員	地域経済課長
委 員	観光産業振興課長

専門委員(敬称略)

氏 名	職 名
篠原 成行	北条かざはや振興会会長
内藤 完子	北条商工会副会長
太田 貴夫	北条地区区長会会長
安藤 光夫	北条地区まちづくり協議会事務局長
藤田 晴彦	NPO 法人北条鹿島の風早社中理事長
片山 博	北条商業サービス協同組合理事長
森田 輝男	北条駅前商店街代表
金村 毅	松山大学名誉教授
ホビノ・サンミゲル	聖カタリナ大学学長
井口 梓	愛媛大学法文学部准教授

(4) 風早レトロタウン構想推進委員会

風早レトロタウン構想検討準備委員会を受け、風早レトロタウン構想推進委員会を設置した(平成24年6月1日～平成25年3月31日)。

■体制

風早レトロタウン構想推進委員会

属 性	職 名
委 員 長	坂の上の雲まちづくり担当部長
委 員	北条支所長
委 員	都市政策課長
委 員	地域経済課長
委 員	観光産業振興課長

専門委員(敬称略)

氏 名	職 名
篠原 成行	北条かざはや振興会会長
内藤 完子	元北条商工会副会長
忽那 祐三	浅海地区区長会長
山崎 久生	立岩地区区長会長
長野 佳彦	難波地区区長会長
渡部 敏久	正岡地区区長会長
平岩 俊幸	北条地区区長会長
渡部 秀司	河野地区区長会長
乗松 幸平	粟井地区区長会長
金村 毅	松山大学名誉教授
ホビノ・サンミゲル	聖カタリナ大学学長
井口 梓	愛媛大学法文学部准教授

かざはや
(5) 風早レトロタウン構想策定委員会

風早レトロタウン構想を策定するため、「風早レトロタウン構想策定委員会」を設置した（平成 24 年 4 月 24 日～平成 25 年 2 月 26 日）。

■体制

属性	職名
委員長	遠藤副市長 ※稲葉副市長
副委員長	山口副市長
委員	教育長
委員	公営企業管理者
委員	参与
委員	会計管理者
委員	総務部長
委員	契約管理担当部長
委員	理財部長
委員	総合政策部長
委員	危機管理担当部長
委員	水資源担当部長
委員	坂の上の雲まちづくり担当部長

属性	職名
委員	市民部長
委員	保健福祉部長
委員	社会福祉担当部長
委員	環境部長
委員	都市整備部長
委員	開発・建築担当部長
委員	下水道部長
委員	産業経済部長
委員	競輪事業担当部長
委員	農林水産担当部長
委員	教育委員会事務局長
委員	消防局長
委員	公営企業局管理部長

※平成 24 年 4 月 24 日～平成 24 年 9 月 6 日

(6) 意見交換会(ワークショップ)

地域の課題や現状、住民の思いを把握し、適切で効果的な事業計画の作成、地域住民のまちづくりへの意欲の醸成を図るため、意見交換会(地区別ワークショップ)を開催した。

回数	内容	写真
第 1 回	地区の現状・地区の通信簿の作成 開催日：平成 24 年 7 月 12・17・18 日	
第 2 回	元気になっている地区の姿(地区の将来像)・地区が元気であり続けるための取り組みアイデア 開催日：平成 24 年 8 月 20・21・22 日	
第 3 回	まちづくりものがたりのチェックと中核エリアに対する意見交換 開催日：平成 24 年 10 月 20 日	

松山市 風早レトロタウン構想 ～昭和の賑わいを求めて～

平成 25 年 3 月策定

発 行 松山市総合政策部坂の上の雲まちづくり担当部長付
〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目 7-2
TEL : 089-948-6991 FAX : 089-934-1804



風早
レトロタウン
構想